

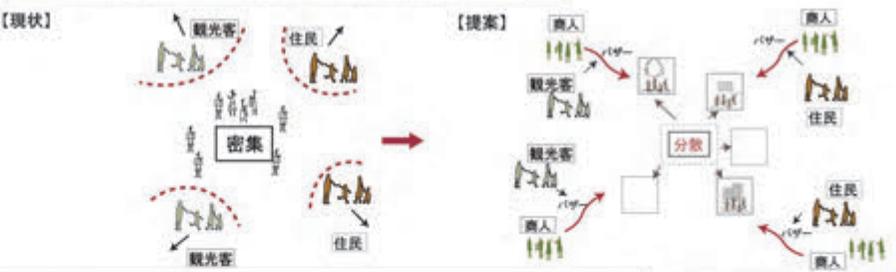


# 高密度に集まるお手伝いさんの過ごし場を分散させ、新しい選択肢としての過ごし場を提案

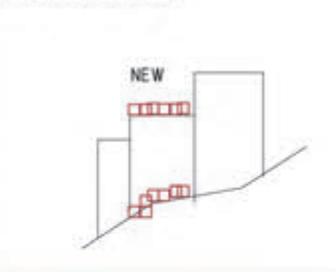
## ① 集まる場所の選択肢を増やす



## ② 住民、観光客も近づきやすい雰囲気とする事で経済活動の活性化を図る

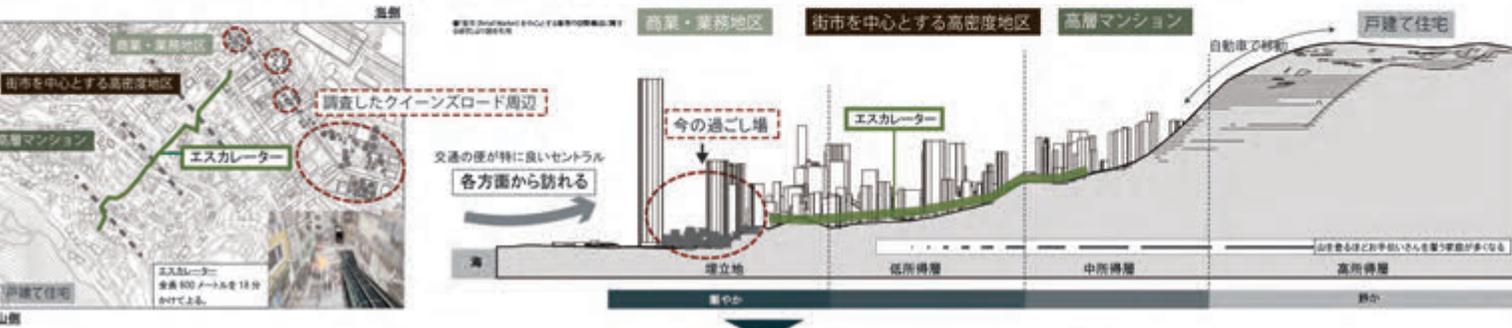


## ③ 新たな風景となる

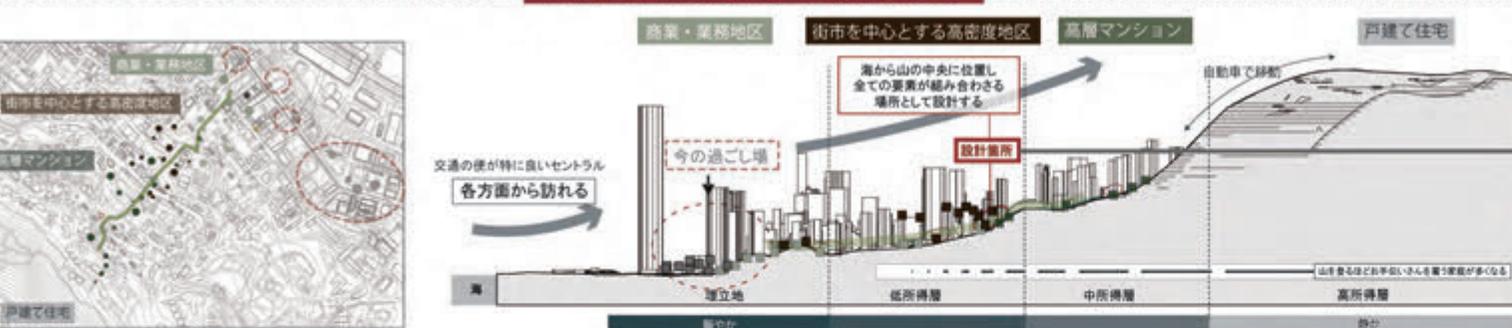


## 敷地：最も多くのお手伝いさんが集まるセントラル地区

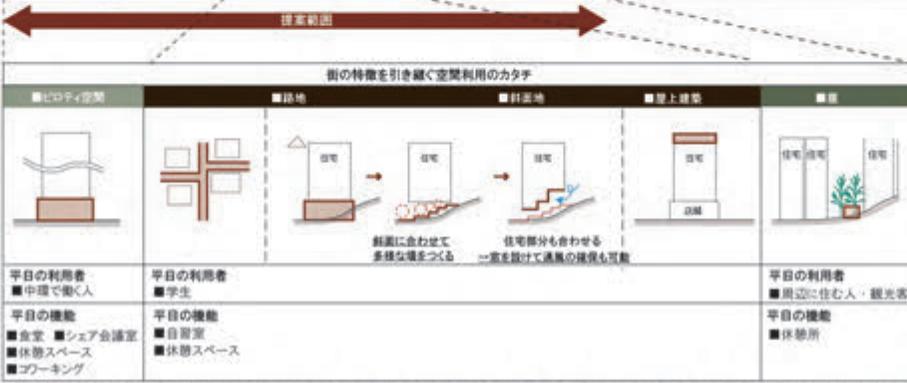
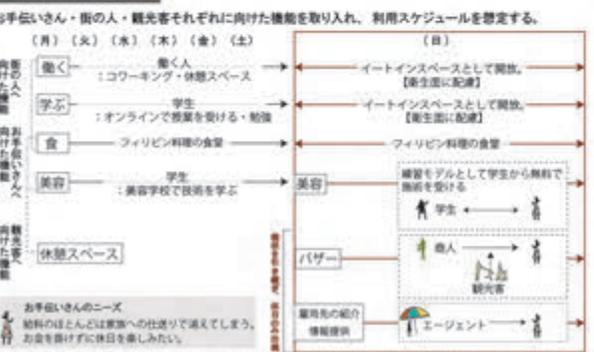
セントラル地区は①高層ビル群の商業・業務エリア/②比較的所得層が住む街市を中心とする高密度エリア/③中所得層が住む高層マンションエリア/④高所得層の戸建て住宅点在エリア、というように、海から山にかけて異なるタイプの地域が隣接する。特に①②③は長大なエスカレーターが貫き、香港の3つの特色ある街並みを体験できる、観光地としてのポテンシャルも高いエリアである。本提案では街の動線として機能するエスカレーターの①②③を提案範囲とする。



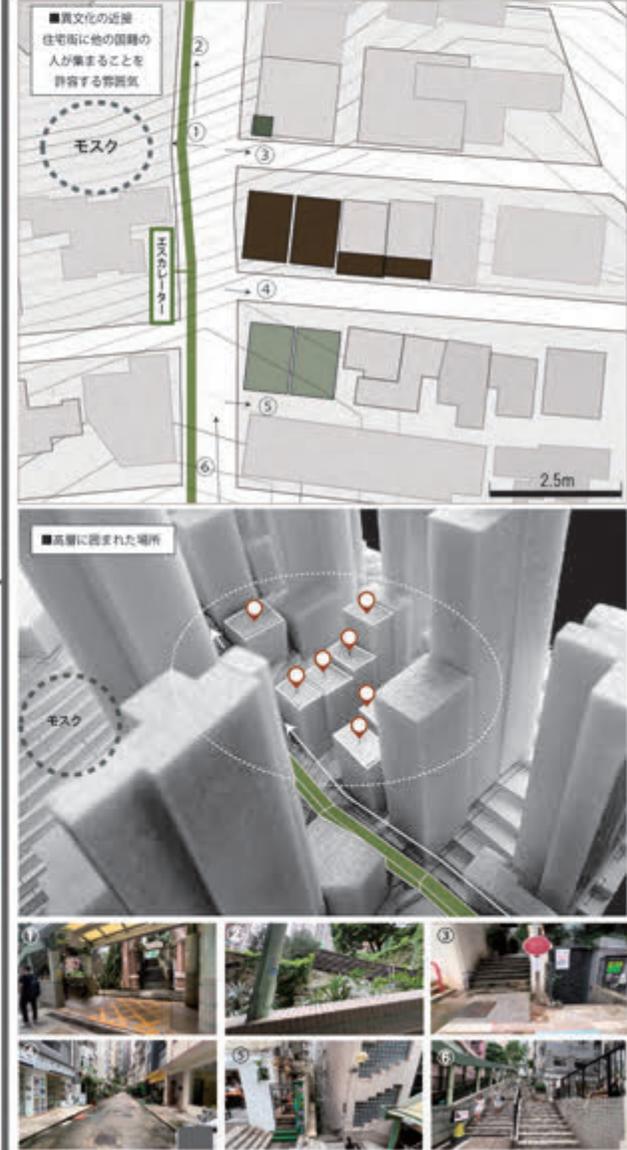
## 街の特徴を引き継ぎ、街に溶け込む過ごし場とする



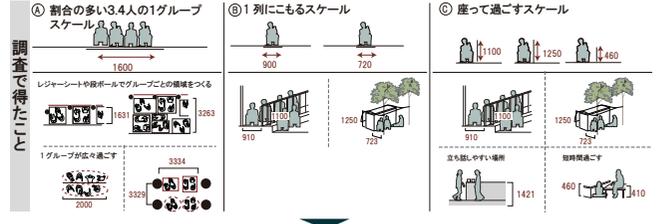
## 空間利用の変化



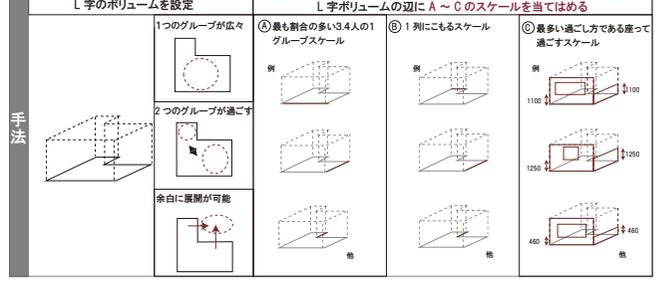
## 設計箇所



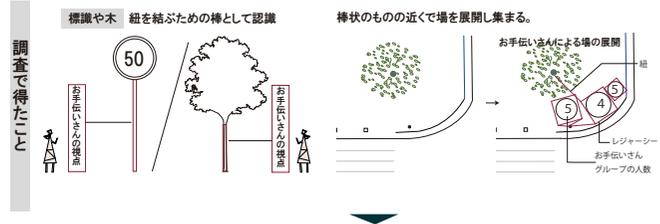
1 お手伝いさんスケール



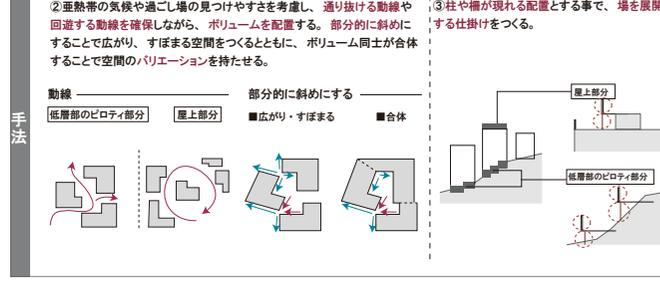
空間ボリュームの設定



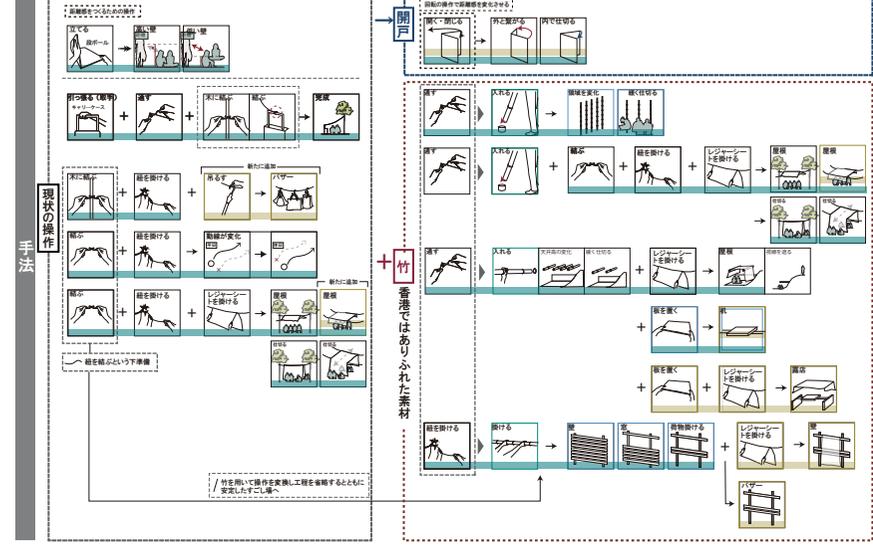
2 お手伝いさんの持つ視点



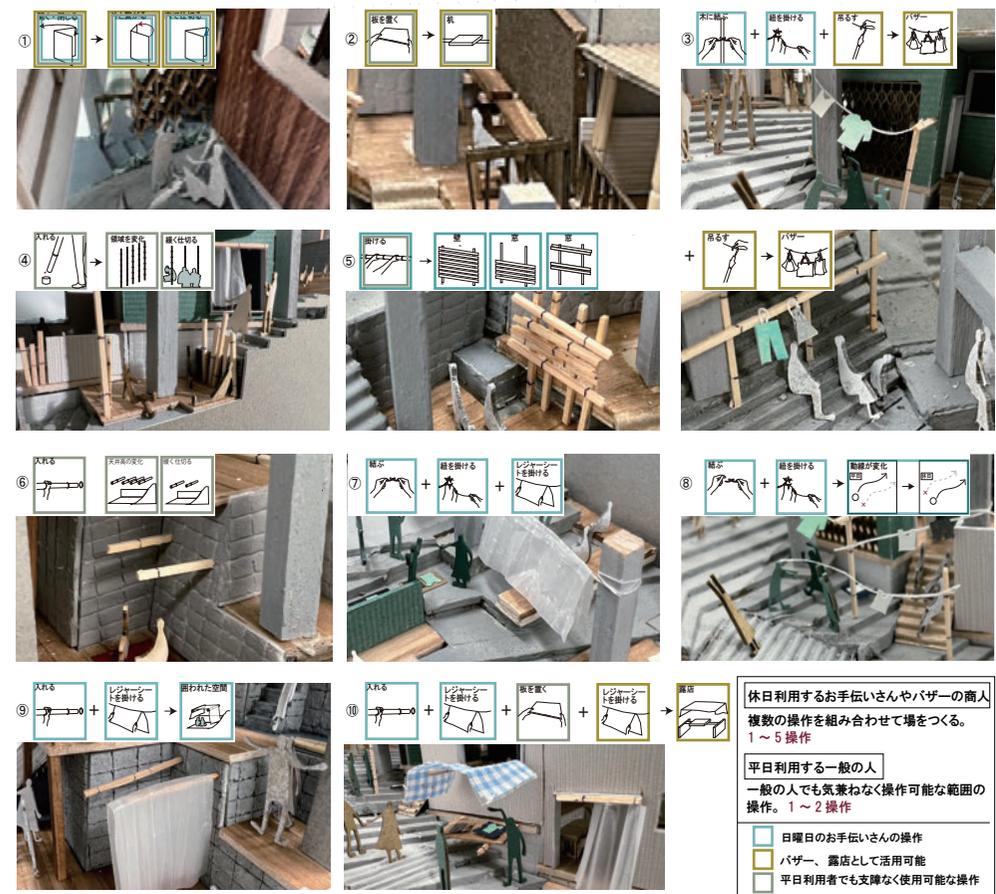
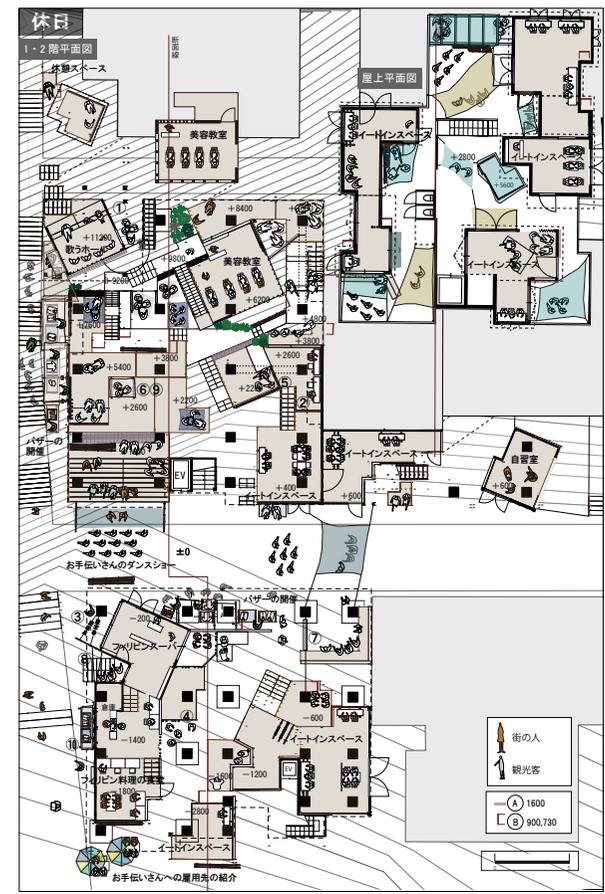
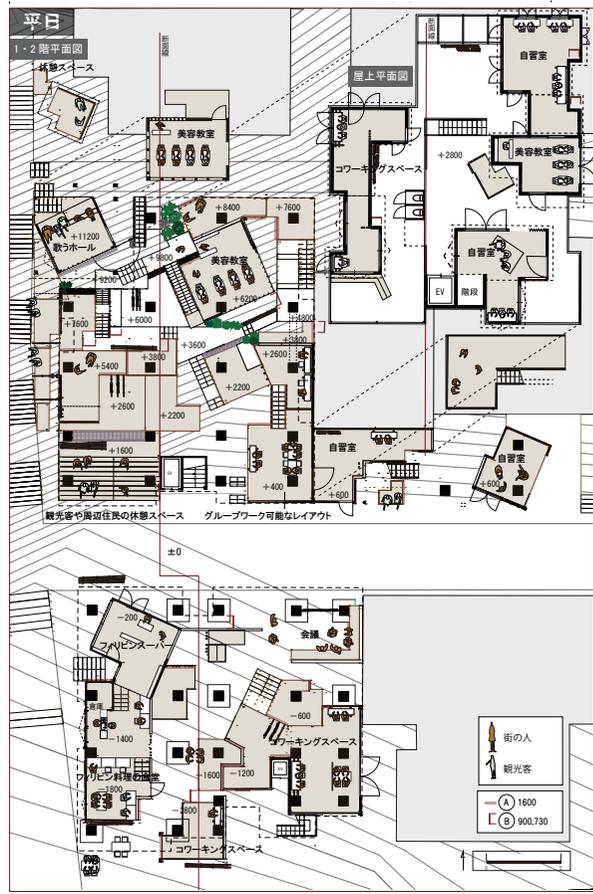
配置計画で対応

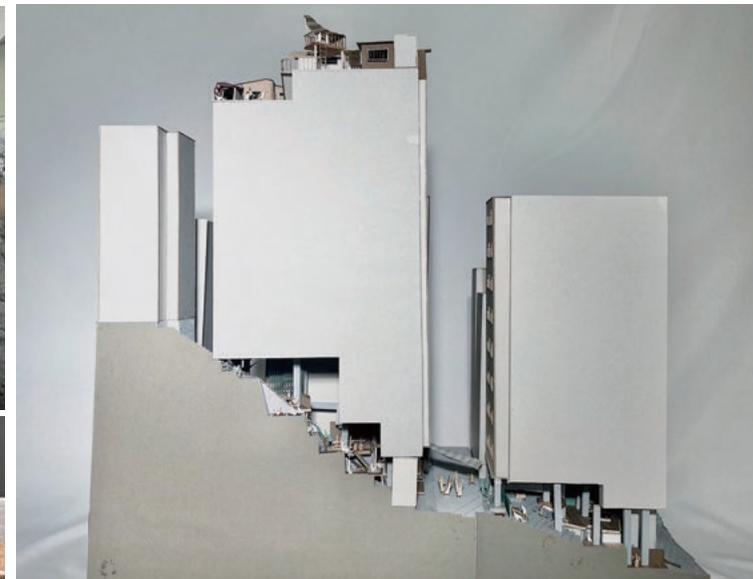


3 手操作による可変性



平面図





お手伝いさんは常に空間に積極的に関与し、空間そのものを楽しむ変化をもたらし、住民や観光客も巻き込みながら街の活気づくりに貢献する。これはお手伝いさんの過ごし場の改善にのみならず、逆に彼女たちのポテンシャルを拡張し、まちづくりの起爆剤となって新たな香港の風景を生み出すための提案である